

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
奈良の自然と災害を知って子供をまもる ～防災教育入門～		全教員	6H	講義
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成29年10月21日(土)	50人	菅原 寛明(国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所・工務課長) 和田 穰隆(奈良教育大学・教授) 高田 大介(奈良県教育委員会保健体育課・指導主事) 藤田 諭亨(奈良県総務部知事公室防災統括室・主幹)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
2011年の東日本震災以降、防災教育の重要性はあらためて認識され、取り組みのいっそうの促進が求められています。奈良県には多くの活断層が存在し、奈良市内も例外ではありません。また、近年では年間降雨量増加に伴い、県の南部地域を中心において土砂災害は頻発しており、深層崩壊現場の多さは全国有数であります。奈良県の子どもたちやその家族を守るために、奈良県で起こる可能性の高い災害について山間部や都市における災害に関する知識を深めるとともに、学校における防災教育推進プランの紹介や災害が起こったことを想定した思考トレーニングならびに防災の基礎知識について講義を行います。				
<b>【小テーマ①】 紀伊半島ではどんな災害が起こるのか？(土砂災害とその対応)</b>			1. 5H	(担当講師:菅原 寛明)
講習形態	講義形式			
講習内容	奈良県を含む紀伊半島における土砂災害とその対応について、これら災害の発生状況および国土交通省のこれまでの対応状況についてご紹介をするとともに、被害発生時の想定される区域・時期の情報がどのように提供されているかをご紹介し、奈良県山間部における防災・減災に関して理解を深めることを目的としています。			
到達目標・確認指標	(1)奈良県を含む紀伊半島における様々な災害の現状を理解する。 (2)災害予知や減災対策について説明できる。			
キーワード	土砂災害、深層崩壊、河道閉塞、砂防堰堤、雨量計、監視カメラ、ホームページを通じた情報提供			
<b>【小テーマ②】 紀伊半島はどんな"つくり"なのか？(その地形・地質と成り立ち)</b>			1. 5H	(担当講師:和田 穰隆)
講習形態	講義形式			
講習内容	奈良県域を中心とした紀伊半島周辺の地質と地形の成り立ち、活断層との関係について解説します。また、活火山の存在しない近畿における火山噴火の影響についても言及します。			
到達目標・確認指標	(1)紀伊半島域、とくに奈良県域を中心とした地質・地形の特徴、活断層分布の特徴を併せて理解する。 (2)それらの特徴がどのような過程で成立してきたかプレートテクトニクスに関連させて説明できる。			
キーワード	プレート・テクトニクス、西南日本外帯、西南日本内帯、活断層、近畿三角地帯、凝灰岩			
<b>【小テーマ③】 防災をどう教えるか？(奈良県学校地震防災教育推進プラン)</b>			1. 5H	(担当講師:高田 大介)
講習形態	講義形式			
講習内容	防災協働社会の担い手として必要な資質や能力の育成を目指した防災教育の体系化が必要とされている。本県では、災害発生時の被害を軽減させるとともに、子どもたちの防災意識を高めるため、発達段階に応じた防災教育が展開されるよう「奈良県学校地震防災教育推進プラン」を作成し、災害に自立的に対応できる子どもの育成を目指している。本講義では、学校(園)における防災教育の展開例などを示しつつ、学校園における防災教育の機会および指導内容等についての理解を深めることを目的とします。			
到達目標・確認指標	(1)日頃から学校が何をすべきかを危機管理の観点から理解する。 (2)学校教育を通してどのようにして子どもたちの防災力を高めていくかの道筋を理解する。			
キーワード	理科、社会、生活、保健体育、体育(保健)、技術・家庭、特別活動、総合的な学習の時間			
<b>【小テーマ④】 災害対策の基礎知識</b>			1. 5H	(担当講師:藤田 諭亨)
講習形態	講義形式			
講習内容	災害対策の基礎知識を養うことを目的として、奈良県に被害をもたらす災害についての理解を深め、日頃からの備えに取り組むとともに、災害を減らすための自助、共助、および公助に関する講義を行います。			
到達目標・確認指標	(1)自分が住んでいる地域の災害リスクや日頃の備えの重要性を理解する。 (2)災害対策の基礎知識を養い、減災害のための自助、共助、公助の基本を理解する。			
キーワード	みんなで取り組む防災対策			
試験方法	各講習の最後に10分程度の筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	4つの筆記試験(小テーマ①②③④)をもとに成績評価する(25点+25点+25点+25点=100点満点)。総合点で60点以上を合格とする。			